

# ある企業のサステナブル・コットンの調達方針概要

CottonUP ガイドを作成するにあたり、サステナブル・コットンを調達するという複雑な課題をすでに克服した企業から学ぶことが重要であると考えました。自分たちで一から考える必要はありません。したがって、どのような調達方針が優れた調達方針なのか、それにはどのような要素があるのかを考えるために、業界から調達方針のいくつかの例を取り上げて、それらを統合して、あなたの会社には何を取り入れたいか考えることができれば、役立つのではと考えました。

## 重要な成功要因

持続可能な調達方針の作成に着手する前に、いくつかの成功要因を考慮することが重要です:

- 調達チーム、購買チーム、または生産チームの認識レベルとサポート
- 幹部の認識レベルとサポート
- 役員会からのサポート
- 現実的な持続可能な調達目標とターゲット
- サプライヤーの所在地
- 製品のコスト
- 規模

以下は、アウトラインの形式の持続可能な調達方針の例です。自社で調達方針を策定する場合、この構造を参考にして、既存の方針にどう合わせるかを含め、自社に合うように調整することができます。

# 例: サステナブル・コットンの持続可能な調達方針

## 方針の内容:

### 1. イントロダクション

- 範囲
- 目的: 基本的要件へのコンプライアンスを確認する
- 定義/略語
- 方針声明: 基準開示
- 実施計画

### 2. サステナブル・コットン戦略の概要

- 会社概要、会社のビジョン
- 持続可能性へのアプローチ
- 倫理的なビジネス慣行、CSR:
  - 環境
  - 社会的側面:
    - 人権
    - 労働
  - KPI、主な事実と数値
  - SDGs、UNGP および現代奴隷法(英国企業)との一致
- 使用されているコットンのスタンダードまたはプログラム
- ガバナンス
  - 委員会
  - 役員会
  - ステークホルダーの関与

- 独立した検証
  - 規約、方針、レポートの公開
  - リスク評価
- 3. 利用可能なコットンの規制
  - 役割と責任
    - 法的規制
    - サプライヤーのコンプライアンス
    - 緩和プロセス
    - 健康と安全
  - サプライチェーンで特定された影響
  - サプライチェーンにおける規制の影響
- 4. サステナブル・コットンに関する懸念
  - 製品、調達、運用上の課題とリスク
    - 農場レベル
    - ジンニング工場レベル
    - 紡績工場レベル
    - 工場レベル
- 5. サステナブル・コットンの提案と新しいソリューション
  - 利用可能な環境に優しいコットンのスタンダード
  - サプライチェーン
    - 調達
      - サプライヤーのコンプライアンス: 責任あるパートナーの選択
      - スタンダードに準拠するビジネスパートナーになるためのプロセス
    - 環境
      - 気候変動への対応
      - 農業、染色、衣服生産における資源の使用
      - 有害化学物質の管理
      - 農薬と肥料の使用

- 炭素と水のフットプリントの測定
  - コミュニティ
    - 賃金
    - 労働条件
    - 差別
    - 女性の支援
    - 子供の権利
- 緩和と実施された取り組み
- リサイクル/サーキュラー・エコノミー
- 顧客と社内チームへの関与
- すべてのコットン製品に適用される指令、規制
- 透明性
- イノベーションと新しい目標

#### 6. 測定と評価

- データシステムとメソッドの概要
- 農場レベル
- ジンニング工場レベル
- 紡績工場レベル
- 工場レベル

#### 7. レポート

- 報告プロセスと頻度
- 報告項目: 主要な問題、課題、活動、目標、パフォーマンス
- 企業方針の違反を報告するための内部告発システム

#### 8. 監査

- 通知後および抜き打ちの監査プロセス
- 監査人の責任
- 自己監査ツール

- パフォーマンス評価と違反の是正
- インシデント処理
- フォローアップ方法
- 制裁

9. 用語集

10. 定義

11. 略語

12. 方針の更新担当者の連絡先

13. 別添